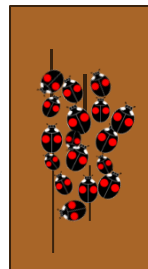


□ トピック □ 越冬する虫

虫の越冬方法は様々で、カマキリのように卵で越冬するものや、ミノムシ(ミノガ)のように幼虫で越冬するもの、モンシロチョウのように蛹で越冬するもの、テントウムシやカメムシのように成虫で越冬するものもいます。

越冬と聞くと、暖かい枯葉の下や、民家の軒下などに暖を求めて越冬していると考えられる人が多いと思います。しかし、このような場所を選択するには暖をとるという理由だけではなく、太陽の陽が当たる場所でじっとしていると、昼間は暖かくて良いかもしれませんが、夜になると急激に気温が下がります。虫(変温動物)は私たち人間(恒温動物)のように、急激な温度変化に適應できないので、日が当たりにくく、温度変化の少ない日陰で越冬をします。また、夏の間エネルギーを蓄え、体内でグリセリンなどを作るものもいます。体液中のグリセリン濃度が高まると、マイナス20度に近い極寒でも体が凍ることはありません。このように虫たちも自分たちに合った自然の仕組みを生かし、生活しているんですね。



集団で越冬するテントウムシのイメージ

□ お知らせ □ 今行すべき防虫対策



整理整頓が不足している倉庫



整理整頓された倉庫

これからの時期は虫の数が減り、虫が原因となる異物混入の頻度も下がってくると思われます。だからこそ、今行っておくことが重要です。多くの虫は卵や幼虫で越冬をします。そのため、成虫に比べて発見することが難しく、生息状況調査や駆除をすることが困難になってしまいます。また、そのまま放置してしまうと、暖くなった春先に、成虫が多数発生し、異物混入につながってしまう危険性があります。春に向けては、虫が活動している今のうちから虫を駆除し、寄せ付けない環境を作っていく必要があります。

今行すべき防虫対策の一つに越冬できる場所をなくすことがあります。具体的には、排水弁や換気扇の清掃、不要な物を整理し、定期的な点検を行うことです。窓枠、天井裏、積まれたダンボール箱や動かされることの少ない資材裏等、屋外に積まれている資材も要注意です。普段から整理整頓を心がけ、一人一人が意識を変えるだけでも、効果はあります。

弊社では7S活動や総合衛生サポートなどでお手伝いもさせていただいております。ぜひ一度お問い合わせください。

□ 豆知識 □ 神無月と神在月

旧暦10月は全国の八百万(やおよろず)の神々が出雲の国に集まる月であるため、他の土地では神様が留守になるので神無月といいますが、出雲では神在月と呼びます。旧暦10月10日の夜、記紀神話において国譲りが行われたとされる稲佐浜で、全国から参集する神々を迎える「神迎祭」が行われます。全国の神々は旧暦10月11日から17日まで7日間、出雲の地で神事(かみごと)すなわち、人には予めそれとは知ることのできない人生諸般の事などを「神議り」(かむはかり)にかけて決められるといわれています。男女の結びもこのときの「神議り」であるといわれています。

人の縁にかかわる万事諸事について「神議り」される神在月。恋愛成就で有名な出雲大社ですが、仕事や学業、様々な縁が結ばれます。

私たちは不思議な縁で結ばれています。ひょんなことから悩みが解決したり、危ないところでなんとかが事故が回避できたり、家族、友達、会社の上司や同僚、学校の先生...すべて目に見えない縁によって起こったり、出会った人たちなのではないでしょうか。その奇跡のような縁を大切に日々過ごしていきたいですね。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)